2013年7月30日

各位

会　社　名　株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
代　表　者　取締役社長　依田　誠
（コード番号　6674　東証第一部）
問 合 せ 先　取締役　コーポレート室長　中川　敏幸
（TEL.075-312-1211）

第三次中期経営計画（2013～2015年度）のお知らせ

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション（以下、ＧＳユアサ）は、このたび、第三次中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

2013年度は経営統合10年目の節目にあたります。経営統合以来、基幹事業である自動車電池事業、産業電池電源事業、海外事業の収益基盤の改善に取り組んでまいりました。一方、新規事業として育成しておりますリチウムイオン電池事業は、有力パートナーと連携して、いち早く生産体制を整備いたしましたが、電気自動車の普及の遅れにより厳しい状況を強いられております。

しかしながら、低環境負荷社会、低炭素化社会、防災・減災社会への趨勢は増々高まるものと思われ、ＧＳユアサが長年培ってきた電池・電源技術は必ずこのような社会の実現に貢献するものと確信しております。

経営理念である「革新と成長」の具現化を志し、快適・安心な未来へ貢献するエネルギー・デバイス・カンパニー「新生ＧＳユアサ」へ飛躍する新たな取り組みを開始いたします。

記

Ⅰ．第二次中期経営計画（2010～2012年度）の総括

第二次中期経営計画の経営目標を達成することができませんでした。取り組んでまいりました重要戦略課題の成果は以下の通りです。

① リチウムイオン電池事業の育成では、株式会社 リチウムエナジー ジャパン（以下、ＬＥＪ）の栗東第一工場に加え栗東第二工場が完成し増産体制が整いましたが、電気自動車の普及遅れにより販売計画を大幅に割り込みました。一方、株式会社ブルーエナジーは2013年度のハイブリッド車向け販売の拡大にあわせ増産体制の準備を進めました。また、産業用リチウムイオン電池は鉄道・防災・蓄電向け等で着実に受注を伸ばすことができました。

②海外事業の拡大では、アセアンを中心に成長市場を取り込み拡大いたしましたが、中国においては環境規制強化により増産計画の見直しを余儀なくされ目標を達成することができませんでした。

③既存事業の収益力強化では、自動車電池事業はアイドリングストップ車用電池で高い新車納入シェアを獲得するなど、安定的収益基盤を築くことができました。産業電池電源事業は電気車用電池の需要回復に加え、震災復興、防災・減災対策による需要も堅実に受注し収益が増加しました。

以上のように既存事業は収益改善に努めることができましたが、育成事業であるリチウムイオン電池事業は事業環境の影響を受け計画未達となりました。しかし、環境対応車ならびに新エネルギー分野への社会的動向に変化はなく、一層の競争力強化に向け第三次中期経営計画へ繋げてまいります。

	2012年度　最終目標	2012年度　実績
売　　上　　高	3,300億円	2,745億円
経　常　利　益	200億円	123億円
税　前　利　益	200億円	83億円
ROE（自己資本利益率）	12%以上	4.8%
営業キャッシュ・フロー	250億円以上	191億円

Ⅱ．第三次中期経営計画の概要

１．経営方針

『世界のお客様へ快適・安心を提供するエネルギー・デバイス・カンパニーを目指して、
事業領域の拡大と継続的成長を図り“新生ＧＳユアサ”へ飛躍する』

- ◆ 新規事業（リチウムイオン電池・新エネルギー分野）の事業基盤強化
- ◆ グローバル市場でのポジション･アップ
- ◆ 既存事業の更なる収益力の強化

（1）計画期間　　2013 年 4 月から 2016 年 3 月の 3 ヵ年間

（2）経営目標

	2015 年度　最終目標
売上高	4,500　億円
営業利益率	8%　(360 億円)
当期利益率	5%　(230 億円)
ROE（自己資本利益率）	15%　以上
キャッシュ･フロー対有利子負債比率 (年)	2.0　以下

２．重要戦略課題

既存事業の収益を高めることにより経営基盤と新規事業の育成を支え、経営目標を実現し継続的成長を可能とするために以下の重要戦略課題を設定いたします。

（1）新規事業の競争優位性構築による事業基盤の安定化

・ロバート･ボッシュ GmbH、三菱商事㈱との提携によるリチウムイオン電池の競争力強化
　合弁会社の設立（本社：ドイツ・シュトゥットガルト）
　2014 年初頭より次世代リチウムイオン電池の開発開始、販売・マーケティングの強化
・ＬＥＪ再建計画の実施
　財務構造の抜本的見直し
　タスクフォース設置による販売・生産・品質・コスト競争力の強化
　ロバート･ボッシュ GmbH との提携による販売強化
・ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車向けリチウムイオン電池の増産体制整備
・新エネルギー関連製品（リチウムイオン電池・電源装置等）の事業拡大

（2）海外成長市場を基軸としたグローバル展開

・アセアン戦略拠点の整備
　タイ国 Siam GS Battery Co.,Ltd.の連結子会社化
・中国における生産・販売力の強化
　自動車電池 1,000 万個の生産・販売体制の整備
・アセアンを中心とした産業電池・電気車電池の販売強化

（3）既存事業の技術力・コスト対応力を活かした収益力の向上

・環境対応等の新製品拡販による市場地位の強化
・生産体制及び供給体制の最適化
・徹底した原価低減によるコスト優位性の確保

（4）財務施策

・有利子負債の削減（600 億円以下）と自己資本比率の向上（45%以上）
　収益性を強化するとともに資産効率（投資・運転資本）を改善
　グローバル経営管理強化による財務リスクのミニマイズへの取り組み
・株主還元（最終 2015 年度配当額：12 円/株）

（5）コーポレート・ガバナンスの強化

・コンプライアンス体制の強化
・モニタリング強化と迅速な意思決定
・省資源、省エネルギーによる環境貢献

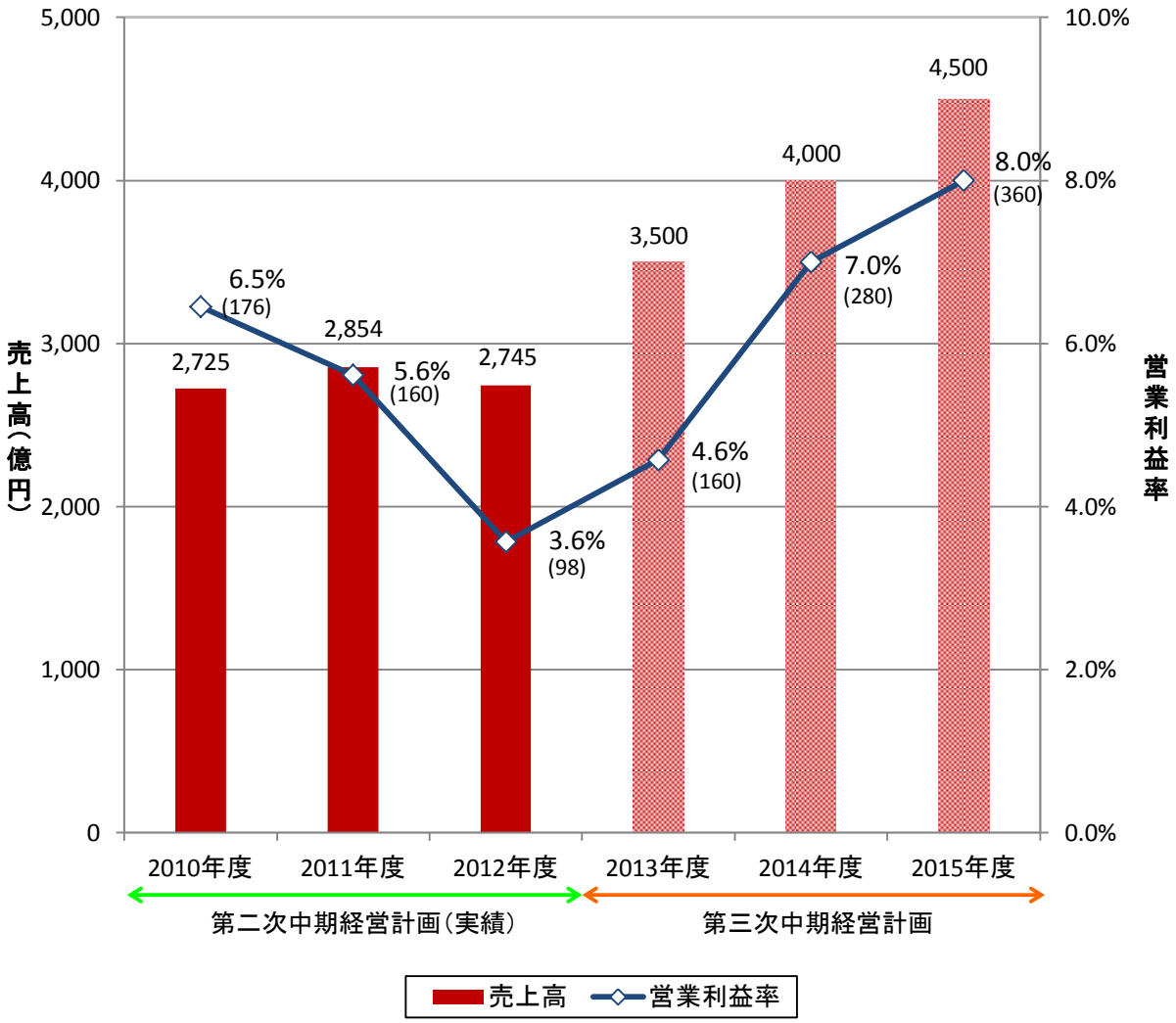
3．投資計画（2013～2015 年度）

	投資累計額
リチウムイオン電池事業	120 億円
海　外　事　業	260 億円
既　存　事　業　等	220 億円
合　計	600 億円

以上

≪添付資料≫

1. 業績と経営目標



2. 経営目標（事業セグメント別）

（単位：億円）

		自動車電池	産業電池電源装置	海外	リチウムイオン電池	その他	連結
2013年度中期計画	売上高	590	800	1,660	280	170	3,500
	営業利益	40	110	85	△ 75	0	160
2014年度中期計画	売上高	610	820	1,900	500	170	4,000
	営業利益	50	120	115	△ 10	5	280
2015年度中期計画	売上高	620	870	2,280	600	130	4,500
	営業利益	65	125	155	10	5	360